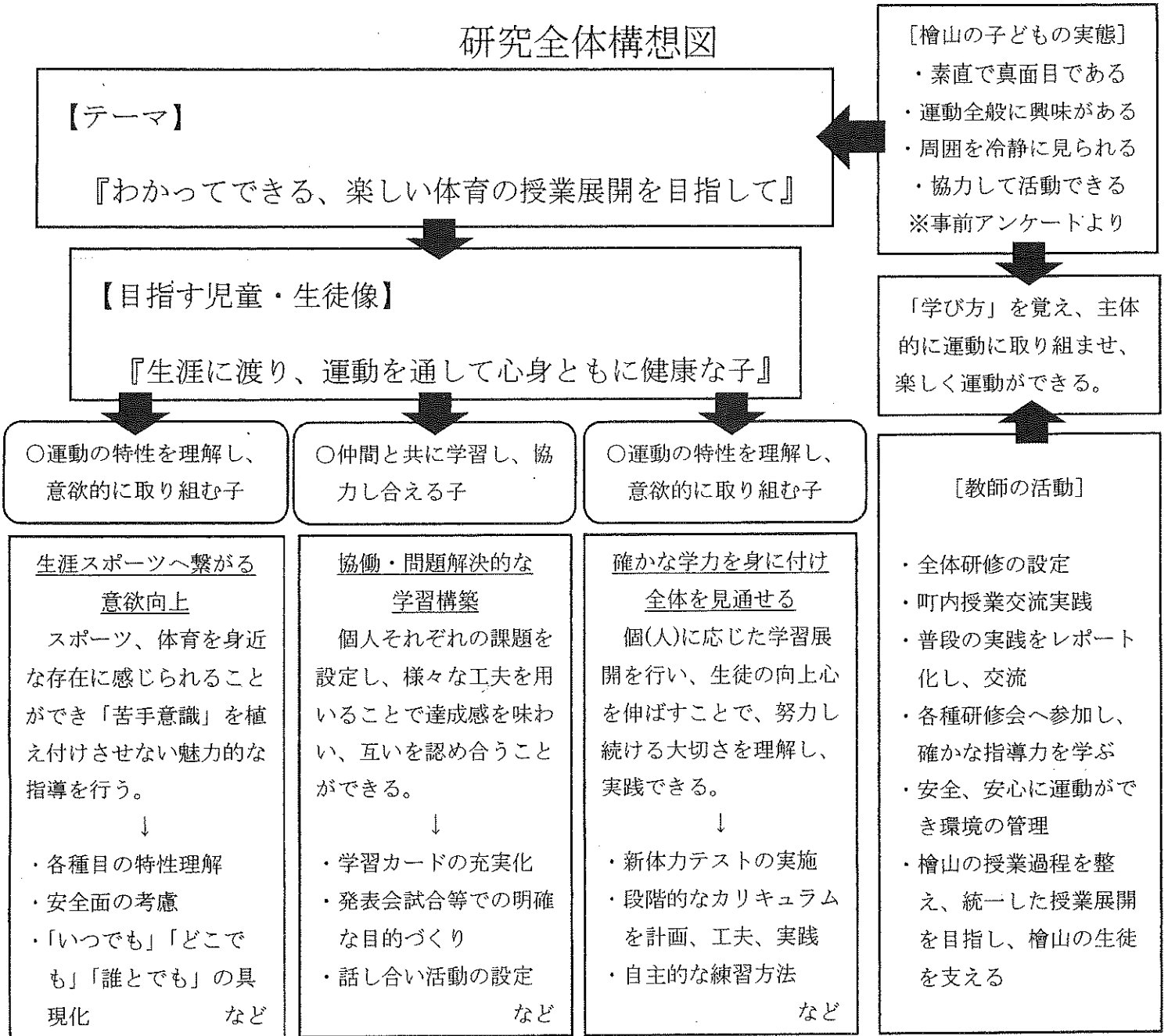


# 檜山支部 活動報告

## 1、研究内容について

### 研究全体構想図



## 教師の的確な思考判断・確かな指導力の向上

### 【重点的な目標】

- ・小中学校間で連携をとり一人ひとり児童生徒の実態把握に努めることで、魅力ある授業展開を目指す。
- ・適切な言語指導を行い、どの年代にも理解しやすい説明に努める。
- ・運動、スポーツを日常的に感じられるよう視覚に訴えた学習環境の充実に励む。
- ・体罰を行わない、させない。また、安全面を考慮し、複数人での取り組みの充実に図る。

# 檜山管内A小学校体育科学習指導案から

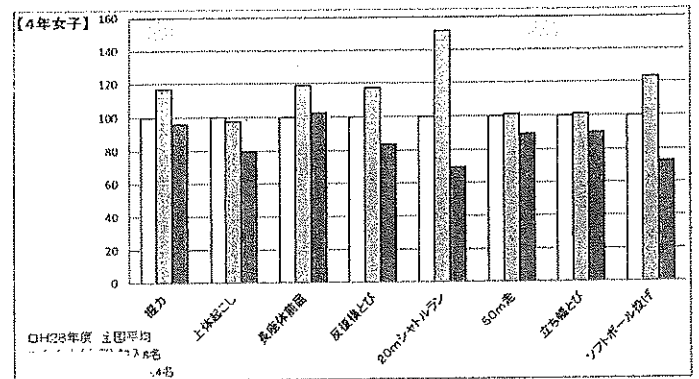
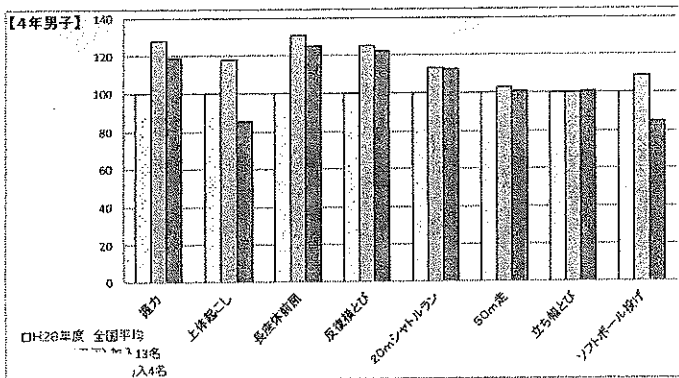
(一部抜粋)

## 2 児童の実態

### (1) 少年団の加入状況

平成28年度		平成29年度		平成30年度(6月)		
北海道	14%	52.8%	54.0%			
檜山	28.6%		1年	31.4%	4年	72.4%
町	46%		2年	38.7%	5年	64.1%
			3年	50.0%	6年	70.0%

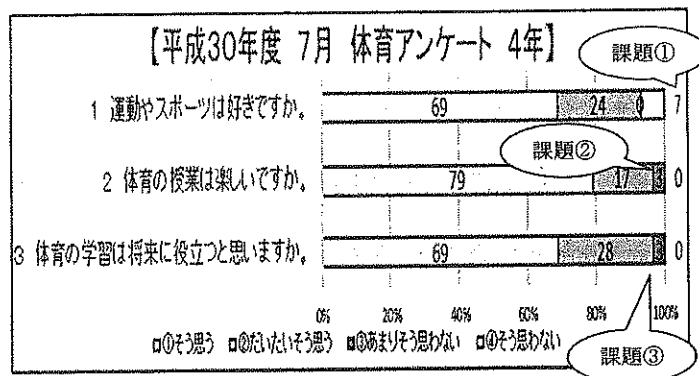
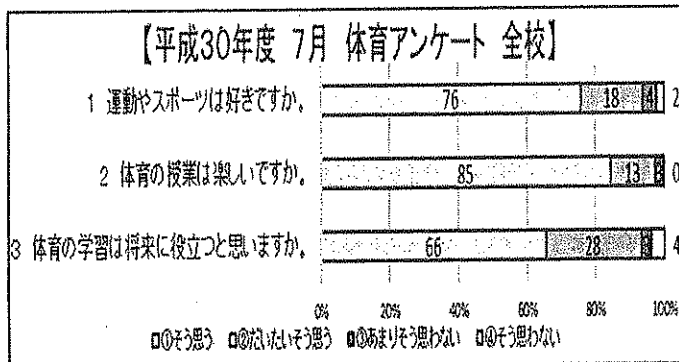
H30年度	男女別	人数	運動系		芸能系		未加入	
			人数	%	人数	%	人数	%
4年	男子	17	13	76.5	4	23.5	3	17.6
	女子	12	8	66.7	1	8.3	3	25.0
	学年	29	21	72.4	5	17.2	6	20.7
全校	男子	104	64	61.5	22	21.2	34	32.7
	女子	96	44	45.8	41	42.7	32	33.3
	全校	200	108	54.0	63	31.5	66	33.0



#### 【考察】

- 少年団等の加入率が高い。
- 少年団等の加入者の方が非加入者より体力が高い傾向にある。
- 上記①、②から、学校(体育)で日常の運動経験が乏しい児童の運動環境の改善を図りたい。
- 運動習慣が身につけている児童にも、より多様な運動の機会を設定したい。

### (2) 体育アンケート



#### 【考察】

- 第4学年で、「運動やスポーツが好きでない」児童が7%(2名)いる。
- 第4学年で、「体育の授業があまり楽しくない」児童が3%(1名)いる。
- 第4学年で、「体育の学習が将来にあまり役立つ」と思っている児童が3%(1名)いる。
- ①の児童(2名)のうち1名は「体育の授業は楽しい」と答えている。
- ①の児童(2名)のうちもう1名は②、③にも該当している。
- ⑤の児童に、体育で運動やスポーツのよさ、楽しさを味わわせ、将来的にも運動やスポーツに親しむ資質・能力を養いたい。